２０２６年１１月８日（日）　日本共産党 発行　週刊　第２６３９号

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

厚生福祉委員会
視察報告

こども会議開催（明石市）
隣県との医療費連携（四条畷市）
重層的相談体制（草津市）

10月27日～29日、市議会厚生福祉委員会（大野とし子議員所属）は、兵庫県明石市、大阪府四条畷市、滋賀県草津市を視察しました。

明石市　子育て支援
7つの無料化

明石市は、子育て支援を前面に、7つの無料化（医療費、保育料、おむつ、一か月児健康診査、小学校、中学校給食費、公共施設の入場料）に取り組み、人口は13年連続増加しています。

市独自の「明石こどもセンター（児童相談所・子育て支援センター）」をつくり、児童虐待から家庭に関する諸問題の解決に、98人の職員で対応しています。

不登校児童の居場所も含めた子どもたちの居場所づくりに力を入れています。「フリースペースストロッコ」と、「こどもの第三の居場所「あかしフリースペース☆トロッコ」



こども第三の居場所「あかしフリースペース☆トロッコ」

このば」の2か所を設置し、子どもたちは、自分で時間割を決めて過ごします。小学生、中学生、高校生が一緒に関わる中で、人と人のかかわり方を学ぶなど人間的に成長できているとのことです。通うことで出席扱いとなります。財源はこども財団からの支援などもあり、無料で通うことができます。

「子ども若者計画」の取り組みにも力を入れています。

こども会議を開催し、子どもたちの願いを取り入れたプレイパークを開催しています。

子どもたちは、自分たちが考えたことを実現でき、自己肯定感が育っています。子どもたちの成長を見守る取り組みは、春日部市にも求められます。

草津市　地域連携で
重層的な支援を実現

滋賀県草津市は、「８０５０」問題などが広がる中、社会から孤立する世帯をつくらないことを目的に「孤立化防止対策事業」「重層的支援体制整備事業」に取り組んでいます。「孤立化防止対策事業」は、障害者手帳保持者の中で、市のサービスに繋がっていない世帯を職員と家族会の方が連携して訪問し、必要であれば支援につなげていくという取り組みです。

「重層的支援体制整備事業」は「人とくらしのサポートセンター」をつくり、社会福祉協議会、民生委員、地域包括支援センターなど多くの機関と連携し、問題を抱えた世帯を支援していくというものです。センターが全体の重層支援会議や個別の対応のための支援会議などを開催し、行政と地域が一つになって課題に向き合っている取り組みに大いに学ぶものがありました。

<生活相談は日本共産党へ> 松本ひろかず℡090-6136-4647　大野とし子℡090-7843-4945
うづき武彦　℡090-2172-2181　角田たえ子℡090-6031-7029
日本共産党市議団ホームページ　https://www.jcp-kasukabe.jp/

教育環境委員会
視察報告

ゼロカーボンシティ（高松市）
ふるさと理解促進（坂出市）
鳥獣被害対策（笠岡市）

10月28日～30日、市議会教育環境委員会（角田たえ子議員所属）は、香川県高松市、坂出市、岡山県笠岡市を視察しました。

廃棄うどんでバイオマス発電実証実験

高松市（人口約40万人）は、地球温暖化が加速化するなか、２０５０年までにCO_2排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、市民や事業者と共に取り組みを進めています。

廃棄うどんを使ったバイオマス発電実証実験（「うどん県」とも呼ばれる香川ならではの発電方法で脱炭素とフードロス削減につなげる）に取り組んでいます。

日照条件に恵まれているため、太陽光発電には大きな期待があり、公共施設、家庭向けに積極的に取り組んでいます。

また、食品ロスの削減、給水スポットを設置して、プラごみ削減等にも取り組んでいます。

高松市は26年度から「脱炭素先行地域」に選定され、持続可能な再エネ発電モデルを展開しています。

春日部市でも、使われていない土地を利用しての発電（自然破壊をしない所で）、発電に取り組みやすくする助成金補助、給水機を数多く設置するなど、大変参考になりました。

瀬戸大橋開通35周年 体験や感動を伝える

坂出市（人口約４万７千人）は、ふるさと理解推進事業で、①体験と感動、②地域とのつながり、③探求と未来の創造の３つの柱を中心に取り組んでいます。

瀬戸大橋が開通してから35周年を迎え、建設に至るまでの経緯、建設や建設後の管理に係る人間の知恵や技術を体験や感動とともに伝えることを課題として取り組んでいます。校外活動が希薄になっていた中学校で体験活動を充実させていくことを課題に実施しています。春日部市にも歴史や特徴ある場所が多くあるので参考になりました。

動物に負けない防護柵を設置しよう

笠岡市（人口約４万人）では捕獲対策、被害防止対策、捕獲活動支援を行っています。

「動物に負けない防護柵を設置をしよう」と呼びかけ経費の半額を補助し、非農家でも申し込みが可能です。市内の高校が箱わな作成に協力しています。春日部市でもイノシシの被害が出ているので参考になりました。

休日の当番医

市立医療センター ℡735-1261（夜間毎日、土・日・祝日）内・外科系　小児救急電話相談 #7119

11/ 8（日）（内科系）内牧クリニック：内牧3149 電話：755-2118　（小児科系）一ノ割クリニック：備後東1-28-22：731-1771　（外科系）さくら皮フ科：中央1-1-1TK春日部ビル4階 電話：760-4112

11/15（日）（内科系）悠翔会在宅クリニック春日部：中央1-1-8第6宝光ビル3階 電話：760-3477　（小児科系）竹田クリニック：大枝89武里団地3-23-103 電話：735-4501（外科系）武里外科・脳神経外科：大畑241-2 電話：736-7516